

## 根や幹の枯損・防止のために

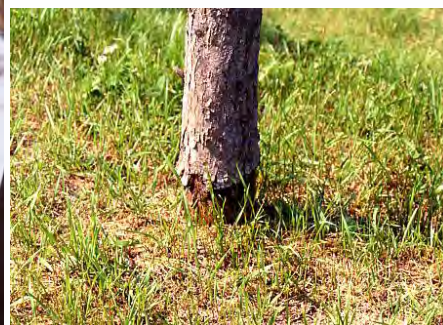
### 1 幹・枝を傷つけないように注意する



除雪・排雪時についた傷



紐が食い込んでできた傷



草刈りの時についた傷

- ①除雪・排雪時における傷の防止のためには担当者へ注意の喚起を行う。
- ②植栽位置の変更と道路構造の改良。(植栽升の幅は1.5m以上が望ましい)
- ③保護杭を設置する方法やツリーガードを保護用に使用する(P.7参照)。
- ④結束紐などを長期間放置しない。
- ⑤過度な剪定は行わない, など。

### 2 傷口・切り口が生じたら(目安として直径5cm以上), 殺菌剤などによる防腐処置を行う

## 幹や枝に枯れたり腐れが生じたら

### 1 枯れた幹や大枝は伐採する

### 2 幹の腐れは被害程度(腐朽部分の大きさ)を見ながら防腐処理などを行う 不明な場合は樹木医と相談することを奨める。

### 3 腐れによる幹折れの危険性が高く, 折れた場合周囲に及ぼす影響が大きいものは伐採する

### 4 伐採した後には必要に応じて補植を行う

## 緑化樹の管理と更新の奨め

### 1 樹木管理台帳の整備と定期的な診断を実施する

5～10年毎に定期的な樹木診断を実施し、個々の樹木の状況を把握しておく。

街路樹管理台帳の記載事項(例)

調査年月, 管理番号, 路線名, 道路延長, 植栽延長, 植柵の形態  
植栽年月, 植栽樹種, 植栽本数, 現存本数, 空き柵数  
樹高, 胸高直径, 枝張り, 枝下高, 生育状況, 傷害・腐朽木数  
剪定年月, 支柱の有無, 特記事項 など

公園樹の管理台帳の記載事項(例)

調査年月, 管理番号, 樹種, 樹高, 胸高直径, 枝張り, 枝下高  
生育状況, 傷害・腐朽の有無, 剪定年月, 支柱の有無, 特記事項 など

### 2 緑化樹の更新計画を立てる

緑化樹は劣悪な環境におかれているために自然条件下で育っている樹木に比べて寿命が短い。

定期的な診断を行い、街路樹ではある一定の樹齢にした場合、順次若木への更新をはかることも必要である。



プラタナスの街路樹



都市公園



公園に植えられたアカエゾマツ



シラカンバの街路樹